

## 平成 26 年度第 1 回 地域福祉計画地区推進会議

### 【北部地区】（議事概要）

■ 日 時 平成 26 年 8 月 25 日（月）18：00～19：30

■ 場 所 市川市役所 3 階 第 1 委員会室

■ 出席者

各地区委員 : 9 名

社会福祉協議会 : 8 名

コミュニティワーカー : 3 名

地域福祉支援課 : 9 名

健康支援課 : 1 名

■ 配布資料

《 事前送付資料 》

- ・資料 1 介護保険制度の改正について
- ・資料 2 地区別計画検討状況
- ・資料 3 平成 26 年度 地域福祉推進関連予算（抜粋）

《 会議資料（机上配布） 》

- ・会議次第
- ・参考 地区推進会議委員名簿
- ・第 3 期市川市地域福祉計画（平成 25 年度～29 年度）概要版

■ 協議内容

○開会宣言

○課長挨拶

○職員紹介

○資料の確認

事務局

○地区推進会議の位置づけの確認

○地域福祉計画の概略の説明

■次第 1 介護保険制度の改正について

事務局

《資料説明 資料 1 介護保険制度の改正について》

宮久保・下貝塚地区 塚越委員

以前の説明では、日常生活圏域について、4つの圏域を設定しているとのことであったが、それに対応するコミュニティワーカーが3人となっている。今後、1名の増員を考えているのか。

事務局 野口課長

現在3名のコミュニティワーカーについて、現在27年度の予算編成の作業中であるが、担当課としては1名増員していきたいと考えている。

事務局

介護保険制度の改正を受けて、具体的な仕組みを考えていくうえでは、地域の皆様のご意見を伺いながら、市川市にあったものを作り上げていきたいので、今後とも協力いただきたい。

## ■次第2 第3期地区別計画について

### 《方向性1 活動の場の確保・充実》

国分地区 人見委員

現状として、活動しやすい活動の場が確保されているということであるが、国分地区の地域ケアシステムの拠点については、西部公民館の元々は風呂場だったスペースである。壁はタイル張りで蛇口を取り除いた水道設備がそのままとなっており、窓の外には巨大な空調の室外機があるため、窓を開けることもままならない状況である。このような状況が活動しやすい場所と言えるのか。この件については、すでに市に要望書を出しているが、今後、関係部署に相談しながら進めていきたい。

事務局

公共施設が限られていることから、ご要望に沿った形まで拠点の整備が行き届いていない状況についてお話いただいた。

国分地区 人見委員

限られているといったことであるが、西部公民館の中には倉庫となっている部屋もあり、それほど物が入っている状況でもない。そういった場所を、拠点に転用することができないのではないか。そのような整備をすることで、高齢者でも気軽に立ち寄れる場、あるいは活動しやすい場となるのではないかと考えている。そういったことを踏まえて、行政の担当課と話し合っていきたい。

事務局 野口課長

委員より以前からお話を伺っているので、個別の部分については関係部署とも協議していきたい。

## 宮久保・下貝塚地区 岩松委員

地域の活動、特に、地域住民の参加といった部分で、実際に計画の理念や行動指針といったところを実現していくためには、大変な努力が必要である。地域住民の健康な生活を目指して進めるにあたり、拠点ということでは、宮久保・下貝塚地区では貸し店舗を活用し始め3年目となっている。前回も報告したが、どのように拠点を知ってもらうか、また、立ち寄ってもらえるかということで、苦慮してきた。拠点を開所していても来所者がなかなか伸びなかったため、相談員でも検討したところ、やはり場所が分かりにくいので標示物を出したほうが良い、立ち寄れるような機会を作ったほうが良いのではといった意見が出てきた。それを受けて、地域の活動を知っていたくため、サロン活動等の月次報告として拠点から発信してきた。また、昨年1年間の来所状況としては、月平均100人程度、年間で1,300人にまで及んだ。その中で、特に目立った来所理由としては、サロン活動の内容や地域の活動の情報を得るため、あるいは、朝晩の散歩の途中でちょっとのぞいてみたいということで立ち寄ったといったことであった。

これをベースとして、これまでの来所者の口コミを期待し、一層の情報発信をしていく企画として、拠点が商店街に位置しているため、買物帰りに雨が降り出したときなどに利用できるよう傘の貸し出しを始めている。

場の設定としては、拠点でサロン活動の打ち合わせや作品を展示してさらに参加を募るといった機能があるが、もうひとつの機能として、夏休み期間中ということで、小学校高学年の児童たちの自由研究の打ち合わせやまとめをするスペースが無いといった話を受けて、試行的に、相談員が立会ったうえで土曜日開所してみたところ、非常に熱心に取り組んでいる姿を見ることができた。そのような機能も少しずつ取り入れて知ってもらっていけば、より良い場の設定につながり、利用効果につながるものと思われる。

いずれにしても、高齢者の方々の参加意識を募るのは、実際に取り組むのは非常に大変なことである。今後、お願いしたいこととしては、高齢者に参加してもらう、あるいは趣味で関わりを持っていただくという切り口は良いが、そういったことをどのように呼びかけていけばよいかといったことも支援していただければありがたい。

## 事務局

宮久保・下貝塚地区については、空き店舗を活用する拠点があり、その拠点のPRと地域活動を地域の方々にいかに知ってもらうかといったところに重点を置き、活動に取り組んでいるといったことを紹介いただいた。

また、今年度の新たな取り組みとして、雨天時のため傘の貸し出しといった地域貢献を通じて更なるPRにつなげ、また、今後の学校との連携にもつながる取り組みとして、児童の自由研究のために場所を提供するといった試みも紹介いただいた。

高齢者の方々にどのように地域活動に目を向けていただけるかということで、行政としても参考になる事例等があれば、情報交換していきたい。

## 《方向性2 地域住民のつながりの強化と情報の共有化》

## 事務局

地域住民のつながりの強化と情報の共有化として、地区によっては在宅介護支援センターによる出張相談窓口を定期的に開催するといった事例もある。

情報の共有化を図るため、会議の開催方法や構成メンバーを工夫するといった地区もある。また、情報の共有化を図る上では、個人情報の取扱といったところに注意していく必要もある。スムーズな情報活用のため工夫をしているといったことがあれば、紹介いただきたい。

## 国分地区 人見委員

当地区においては、今年度から子育てサロン「わかばサロン中国分」を立ち上げた。以前は、公園デビューということで、公園で乳幼児の母親たちが出会って、交流していくといったことが見受けられたが、最近はそのような光景が少なくなっているように思われる。そのような状況を受けて、母親を集めて仲間作りの機会を作ろうということで、月に1度、自治会館を開放してサロンを開催している。当初は、1組、2組くらいしか参加がなかったが、徐々に増えてきており、こども同士・母親同士の交流ができています。今後とも、少しずつでもその輪が広がっていけばよいと期待している。

## 事務局

新たな子育てサロンを立ち上げ、こどもと母親の仲間作りの機会を作り、地域住民のつながりの強化を図っている事例を紹介いただいた。

## 宮久保・下貝塚地区 岩松委員

情報共有化にあたって、毎月の活動報告を67名の福祉委員に定期的に資料として配布しており、福祉委員がそれぞれの団体に帰りあるいは地域の身近な方々に広げていただくといった取り組みや、拠点からの情報発信をしているところであるが、そのような取り組みにはどうしてもお金がかかる。それを紙面で紹介する、あるいは写真を掲示する、各種媒体を通じて発信することをやればやるほどお金がかかる。そのあたりについて、支援を検討いただきたい。実際に活動に関わっている人だけが資料を持っていても、情報が広がっていかない。そのような部分については、それなりの費用をかけていかないとはいけない。

また、自治連と地域振興課において協働促進部というものがあり、地域住民や行政の中でも情報の共有を図るということであるので、現在取り組んでいる地域の活動についてもそのようなところで、情報交換できればと考えている。実際に、情報を広めるにあたっては、自治会の会長や役員の協力が必要であり、自治連との関係強化も進めていきたい。

## 曾谷地区 箕輪委員

今後、試してみようと考えていることとして、地域で活動するいくつかの組織がある。自治会を主体とした場合、商店会、子ども会育成会、高齢者クラブといった組織がありそれぞれ独自に活動しているが、組織間の交流が無く、横のつながりが無い。これをどうにか打破できないかということで、各代表に集まっていただき、そのあたりの課題について協議したいと考えている。どのような結果になるかはとにかく、そのような努力も進めていきたい。

## 事務局

地域で活動する団体間の連携がますます求められていくにあたり、それを形にしていこうという取り組みを紹介いただいた。

また、宮久保・下貝塚地区からは、実際の活動が活発になるほど経費が嵩んでくることがあるため、何らかの支援が必要ではないかというご意見をいただいた。

行政としても今後研究を重ねていきたい。

## 《方向性3 活動内容の充実》

## 事務局

活動の内容ということで、今後、力を入れていきたい企画や新たな取り組み、活動に際して意識していることなど、情報提供いただきたい。

現状として、他の地区のサロンの取り組みを参考とする必要があるとされており、今後、具体的に検討しているといったことがあれば、情報交換いただければ。

先ほどは、曾谷地区では地区での活動団体間の連携を図っていく取り組みを紹介いただいたが、他の地区との連携や情報交換していくといったことがあればご紹介いただきたい。

## 大柏地区 林委員

大柏地区としては、7箇所のサロンがあり内容は様々である。一昨年あたりに、サロンの内容として、マージャンはどうかと検討し、健康マージャンなのだからやってみようということになった。実際、参加者は非常に多く、男性女性を問わず盛り上がっている。場所があるからいつでもどうぞということでは、人は集まらないので、例えばマージャンのような参加者が楽しめる企画が必要である。

公民館で囲碁・将棋などの集まりが見受けられる。男性がなかなか参加しないというが、囲碁・将棋のときは、あふれんばかりに集まっている。逆に女性は殆どいない。やはり楽しいから参加するのであり、老人会など年齢で区切るのではなく、囲碁将棋などの内容・メニューを決めて、子供から高齢者まで年齢対象を問わない形も考えられるのではないかと。

男性の参加が少ないといわれるが、公民館の囲碁将棋や健康マージャンの様子を見ると考えさせられる。人の気持ちをつかむというのは、案外そのようなものなのかなと思われる。

## 事務局

マージャンを取り入れたサロンに非常に人が集まっていることから、年代や性別を問わず、楽しさを共有できるテーマで人を集めることができるのではないかとしたことでご紹介をいただいた。男性の参加者が少ないとはいえ、男性が興味を感じられるテーマを設定したものが良いのではとのご提案である。

## 宮久保・下貝塚地区 岩松委員

今年度の企画として計画中であるが、サロンの立ち上げの切り口として、ひとつは「お互いさま」ということで、お互い支え合うためのものがないか。また、サロンの

内容が趣味のことが多いが、「健康で長生き」ということで、健康で長生きするために役立つ仕掛けができないか。もうひとつは情報の共有化で「参加とふれあい」といったテーマを考えている。

4月からやっているが、非常に良い取り組みと感じているのが健康体操である。宮久保・下貝塚地区は公民館が無いため、会場の確保に苦労している。拠点では狭く、自治会館も使用できるときに限られる。今回は、宮久保自治会館をお借りすることができ、4月から月2回、平日と土曜に整体の先生に来ていただき、体の芯を丈夫にして転倒を予防する簡単な体操に、毎回20名から30名程度が参加している。現在、のべ100名程度の新しい仲間が増えた。

また、10月に予定しているが「おもてなし広場」という切り口で、健康をテーマとしている。健康的な管理のための講座ということで、栄養相談、口の衛生管理ということで口腔ケア、福祉相談、従来のサロンの実演といったことを、小学校の体育館を借りて、健康に関わる内容に触れていただこうと考えている。先ほど、高齢者の社会参加といった話もあったが、なかなか難しいことであるが、地域の方々に何らかの形で近づいていただければ。

このような規模の大きな場の使い方と、より小規模な場として、趣味的なことで、なかなか場所が無いことから、個人の家を使ったような集まりにも目を向ける必要があるのではないか。結果的に、大勢の仲間との交流につながっていけば良い。そのようなことも勉強しながら、少しでも地域の関わりが深くなっていけばと考えている。

## 事務局

宮久保・下貝塚地区では、現在企画中ということで健康づくりをテーマとした「おもてなし広場」といった地域のイベントをご紹介いただいた。また、地区に公民館が無いということから、自治会館を活用し、健康づくりの体操も定期的で開催されているということで、先ほどの介護保険制度の改正にもあったが、地域における介護予防を先駆けて取り組んでいる感がある。さらにより小さい身近なレベルとして、個人の家を活用するような活動もあるのではないかといったご提案をいただいた。

本日は国府台地区の委員が欠席されていることから、コミュニティワーカーから何か紹介いただければ。

## 北部地区担当 川名コミュニティワーカー

国府台地区の取り組みについて、サロンの参加者が固定化し、マンネリ化する傾向が見られるということで、国府台地区の拠点はスポーツセンター内にあるためなかなか人が集まらない状況であり、相談員もどうしていいかということで検討を進めている。先日は、行徳地区から手先が器用な方をお呼びして、サロン開催に向けて折り紙の研修を行ったり、あるいは現在活動しているサロンを工夫して、もっと参加者を増やす方法が無いか、男性が参加できるものが無いかといったことを検討し、大柏地区の健康マージャンを見学し、サロン立ち上げの動きが少しずつ出てきている。

## 事務局

国府台地区では、サロンの拡充を目指し、行徳や大柏といった他地区との交流・情報交換をしている状況について紹介いただいた。

宮久保・下貝塚地区 塚越委員

社協の企画であったが、コルトンプラザでサロン活動従事者を集めたイベントを開催していた。あの効果として、一般の方々にサロン活動を紹介するだけでなく、他地区の方々が、当地区のサロンを見学したいといったことにつながった。各地区間のサロン活動の情報交換にもつながっており、ぜひ今後も開催していただきたい。

事務局

社協で企画した「てるぼさろんまつり」について、過去2回開催しているものと思われるが、サロンの担い手の方々を一堂に会して、情報や技術の交換を含めて、他地区との連携と活動の幅を広げるといった効果につながっている。今後も継続することにより、地域の方々にサロンを知っていただくのと併せて、サロン活動に携わっている方々の幅が広がっていくものと思われる。

介護保険制度の改正に関わらず、ボランティアに期待される部分がより大きくなってくると思われ、現在の活動と今後に向けてうかがえれば。

ボランティア協会 天野委員

介護保険制度の改正を受けて、いろいろと考えさせられることがある。

サロンや公民館に一人で歩いていける方々は良いが、今後、なかなか自力で歩いていけないような方々が、寝たきりになってしまうようなことを防ぐためには、やはり隣近所、向こう三軒両隣といった方々と2,3名で個人宅でお茶会をするような機会を増やしていくような場になれば、災害時の助け合いができたり、個人情報の問題も解決できたりといったことにつながるのではないかな。非常に時間がかかる事ではあるが、そういったところも草の根の運動で広がっていけばよいのではと思っており、ボランティア協会の中でも、自治会に協力をして活動を一緒にできるようにしていこうといった話をしており、活動の中で重要なのは、自治会に加入して一緒に活動をすることであり、そこから情報の共有化や人付き合いといったことにつながり、サロンや地域のイベントに発展していくのではないかな。小さい単位で数多くできるようなものが、進んでいけばより良い地域になるのではと考えており、草の根のレベルから協力していきたいと考えている。

事務局

隣近所、歩いていける距離での活動が広がっていけば、地域全体が良い方向に向かっていくということで、ボランティアとしても協力していくといった方向性を伺った。

## ■次第3. その他

事務局

〈資料説明 資料3 平成26年度 地域福祉推進関連予算（抜粋）〉

事務連絡

- ・保健センター健康支援課より挨拶

- ・ 報償費について
- ・ 議事録について

事務局 野口課長

本日、介護保険制度の改正について説明したが、今後これをどのように地域で進めていくかについては、それぞれの地域ごとに課題も取り組みも異なるため、市全体で一律でというのではなく、地域の方々とどうして行くのかを考えていかなければならない。介護保険制度をうまく活用し、高齢者を取り巻く環境を充実させることを通じて、地域の障害や子供といったところも併せて充実させていければと考えている。そのような意味でも、新しい地域づくりに取り組んでいく上で、今後ともご意見ご協力をいただきながら進めていきたい。

19 : 30 終了